

桜川地区3小学校跡地の利活用に関するサウンディング型市場調査 結果の公表について

令和5年3月22日
稲敷市行政経営部企画財政課

1 サウンディング実施の経緯

稲敷市では、少子化の影響により児童数の減少が著しいことから、平成22年3月に「学校再編整備実施計画」を策定し、市内小学校の再編を実施してきました。その計画に基づき、桜川地区の阿波小学校・浮島小学校・古渡小学校の3校は桜川小学校に統合され、令和3年3月をもって閉校となりました。

現在、校舎等の建物及び敷地は利用されていない状況であり、大規模な敷地と施設を有する学校跡地については、地域を活性化させるという観点から有効に活用していくことが、本市にとって重要な課題となっています。

このようなことから、民間事業者との「対話」を通じて、学校跡地（校舎、体育館、グラウンドなど）の市場性の有無や活用アイデアなどを調査するサウンディング型市場調査を実施しました。

調査を行った学校施設（土地・建物）の概要

施設名	在り地
旧阿波小学校	稲敷市阿波1240番地
旧浮島小学校	稲敷市浮島3650番地
旧古渡小学校	稲敷市古渡2166番地

2 サウンディングの実施スケジュール

概要	日程
実施要領の公表	令和4年12月21日（水）
現地見学・説明会の開催	令和5年1月17日（火）・19日（木）
サウンディングの実施	令和5年2月7日（火）
サウンディング結果概要の公表	令和5年2月17日（金）

3 サウンディングの参加者

現地見学・説明会参加者	サウンディング参加者
旧阿波小学校：1者	旧阿波小学校：1者
旧浮島小学校：1者	旧浮島小学校：なし
旧古渡小学校：1者	旧古渡小学校：なし

4 サウンディング結果の概要

提案のあった施設	旧阿波小学校
提案者の業種	医療法人
提案の内容	病院用地
事業方式	現存する建物全てを含む用地一式の購入
既存施設の整備・改修・解体等の内容	校舎、プール、倉庫などは解体し、新たに入院・外来に対応する病院を新築する。 屋内運動場については、耐震補強工事及び改修工事を施し、地域住民の活動のために開放する。
地域への貢献に対する提案	これまで地域コミュニティのシンボルであった旧阿波小学校の精神を引き継ぐべく、屋内運動場は改修により残し、地域のイベント等に活用していただく。 屋内運動場を災害時は避難所として市に提供する。また、その際は看護師を派遣し、避難者の体調管理業務に従事したり、病院施設で避難者向けの食事を調理し提供するなど、地域の基幹病院として、地元や行政と一体となった病院づくりを展開する。

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、提案者からは閉校した旧阿波小学校が地域に愛され、住民の大切な思い出の詰まった場所であったため、学校から地域医療の拠点という形を変えた手段で守っていきたいという思いを受け取りました。

今後、市有財産等利活用検討委員会等で、今回のサウンディング結果を踏まえて方針を議論し、旧阿波小学校跡地が市民にとって最も良い方法で利活用されるよう更なる検討を進めます。

旧浮島小学校と旧古渡小学校については、現地見学・説明会の参加者はいましたが、サウンディングへの参加とまではなりませんので、今回の結果を受けて、再度サウンディング型市場調査に取り組んでいきたいと考えます。

また、その他の未利用公共用地についてもサウンディング型市場調査を実施し、市場性の有無や民間の利活用アイデアを取り入れ、その利活用について検討していききたいと考えます。

【問い合わせ先】

稲敷市行政経営部企画財政課：企画担当
電話 029-892-2000 内線 2611